

「生命(いのち)の安全教育」実践事例

活動名	特別活動「プライベートゾーンのことを知ろう」		
学校名	海老名市立杉久保小学校		
学年	① 1年生	人数	87人 特別支援学級児童を含む
日時	令和6年7月16日(火) 4時間目 11:40~12:25		
学年	② 2年生	人数	80人 特別支援学級児童を含む
日時	令和6年7月17日(水) 4時間目 11:40~12:25		
取扱いの分類	人権・性		
講師	養護教諭		
学習のねらい	<p>○プライベートゾーンを知る。</p> <p>○自分のからだも他の人のからだも大切であることを理解する。</p> <p>○プライベートゾーンを見られそうになったり触られそうになったりしたとき取るべき行動がわかる。</p>		
内容	<p>(導入)</p> <p>1 からだの大切なばしょを考える。</p> <p>2 からだは、すべて大切なばしょだが、特別に大切なばしょはどこか考える。</p> <p>(展開)</p> <p>3 「おしえて！くもくん」の本を読む。</p> <p>・プライベートゾーンのことを知る。</p> <p>・自分がプライベートゾーンを見られそうになったり、触られそうになったりしたときの対応方法を考える。</p> <p>・友達がプライベートゾーンを見られそうになったり、触られそうになったりしたときに自分はどうしたらよいか考える。</p> <p>4 プライベートゾーンのばしょを確認する。</p> <p>5 自分がプライベートゾーンを見られそうになったり、触られそうになったりしたときの対応方法を確認する。</p> <p>6 友達がプライベートゾーンを見られそうになったり、触られそうになったりしたときに自分はどうしたらよいか確認する。</p> <p>(まとめ)</p> <p>7 プライベートゾーンは特別に大切なばしょであることを確認する。</p> <p>8 今日の授業を通して学んだことを振り返りシートにまとめる。</p>		



成果
(児童・生徒、教職
員の感想等)

児童:プライベートゾーンを大切にする。人の気持ちを考えようと思った。自分の大切なばしよをみられたら、いやって言う。もっとくわしく知りたいと思った。
教職員:低学年でもわかりやすかった。絵本の活用がよかった。来年度にむけての見通しがもてた。養護教諭だからこそ伝わるがあった。

学校全体での
取組や工夫

令和6年度より、学校全体で生命の安全教育について取り組み、当日の授業の様子を動画撮影しホームページにて2学期に保護者に公開した。
1年生から4年生までは、養護教諭と人権担当を中心に学年ごとに学習をし、5・6年生は、養護教諭と海老名市教育委員会指導主事で学年ごとに学習をした。
人権教育の視点からも考え、朝会の講話でも「自分と他者を大切にする」話をするなど継続して取り組んでいる。